

福祉

### ゲートキーパーの重要性

#### 役割を啓発

**問** コロナ禍の中で、生活状況や経済も厳しさを増しています。経済的支援は、表面的に見えるため対応ができませんが、精神的な心の病は、いつ発症するか分からず、目に見えない病気でもあります。度合いによっては自殺の危険さがあります。全国的に健康問題が最も多

く、次いで経済・生活問題での心の病により自ら命を絶つてしまう傾向があります。それを止めるには、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人、すなわちゲートキーパーの役割が重要となります。

コロナ禍において、須恵町はどのように考えていますか。

**答** 今泉福祉課長

精神疾患の方に限らず、心を悩める方に対し、早期の発見、支援が重要だと考えています。

須恵町では、平成31年に「須恵町自殺対策計画」を策定しており、事業の一環として、毎年9月の町広報紙の折り込みで、こころの相談窓口のチラシを配布し、毎週金曜日には、こころの相談電話を設置して相談員が対応しています。

また、高齢者の見守り活動をしている民生委員や行政区長、子ども巡回相談を行っている保健師と常に情報を共有し、悩める住民の早期発見・支援を行っています。

しかし、行政のみでは全ての方の把握をすることは難しいため、地域での見守り活動を推進していきたいと考えて

います。

コロナが終息し集会ができるようになったら、住民の皆様がゲートキーパーの役割について啓発していきたいと考えています。



須恵町自殺対策計画



答弁中の平松町長

# 町政を問う！

## 一／般／質／問



今村 桂子 議員

(写真はアクリル板を通してため不鮮明になっています)

#### 設置する予定

**問**

ふれあい公園(仮称)はゲートボール場が整備されますが、ソフトボール場が頓挫した場所では、草が生えている状況です。その後の活用として遊具などを置くとの事でしたが、計画は進んでいません。コロナ禍で多人数による室内での運動が控えられる今、屋外での運動、一人で

きる運動が推奨されています。公園に遊歩道をつくり、軽い運動ができる健康遊具を置くことで健康づくりに活用できます。コロナ禍の今だからこそ、実現してほしいと思います。今後の計画についてお答えください。

**答** 吉川まちづくり課長

計画としては、親子ふれあい広場(仮称)、グラウンドゴルフができる広場、その周辺を園路整備し健康遊具を設置する予定ですが、コロナの影響で当面の間、凍結させていただいています。

施設

### ふれあい公園(仮称)に健康遊具を

生活

#### 総合的に判断

**問**

回収場所が変更になり一年が経過しました。家の前での回収が、公民館などに変更になり、不便になったと感じている人もいます。回収時にスプレー缶が散乱していたなど変更理由です。

回収場所、業者との契約金額・経過、回収場所の見直しなどについてお聞きします。

**答** 平山地域振興課長

エアゾール缶は、通常の缶や瓶に比べ排出量は少なく、ある程度たまったら曜日や日時に関係なく回収ボックスに排出することができます。袋に入れず排出できることから、将来的な脱プラスチック問題にも対応したものとなりますので、今後も個別収集には戻さず、ステーション方式で様子を見ていきたいと考えてい

ます。

また、区長からの要望や状況を確認しながら、ステーションの増設を考えていきたいと思っています。

収集料金は、収集体系の違いや業者の違い等、各町の諸事情により比較できません。エアゾール缶だけを比較されると、須恵町だけが高く見えますが、他のごみ収集料金等を総合的に判断すると妥当な料金であると思っています。

**答** 平松町長

現段階では、ステーション方式での回収をお願いしますが、区長等から情報をいただき、今の回収方法が間違っているのであれば再検討します。

# 3

# 2